

まち・ひと・しごと

戦略 茶話会

英雄猿飛佐助

戦国武将**真田幸村**に仕え

真田十勇士の第一に登場した。

伝説の英雄**猿飛佐助**は

近江国甲賀郡吉永山に実在した

三雲佐助賢春のことだという。



◆茶話会のルール◆

- ・だれもが自由な発言をしましょう。
- ・みんなで知恵とアイデア、意見を出し合いましょう。
- ・みんなの意見に耳を傾けましょう。
- ・他の人の意見を最初から否定しないようにしましょう。

日 時：平成27年7月31日（金）

19時00分～

場 所：社会福祉センター

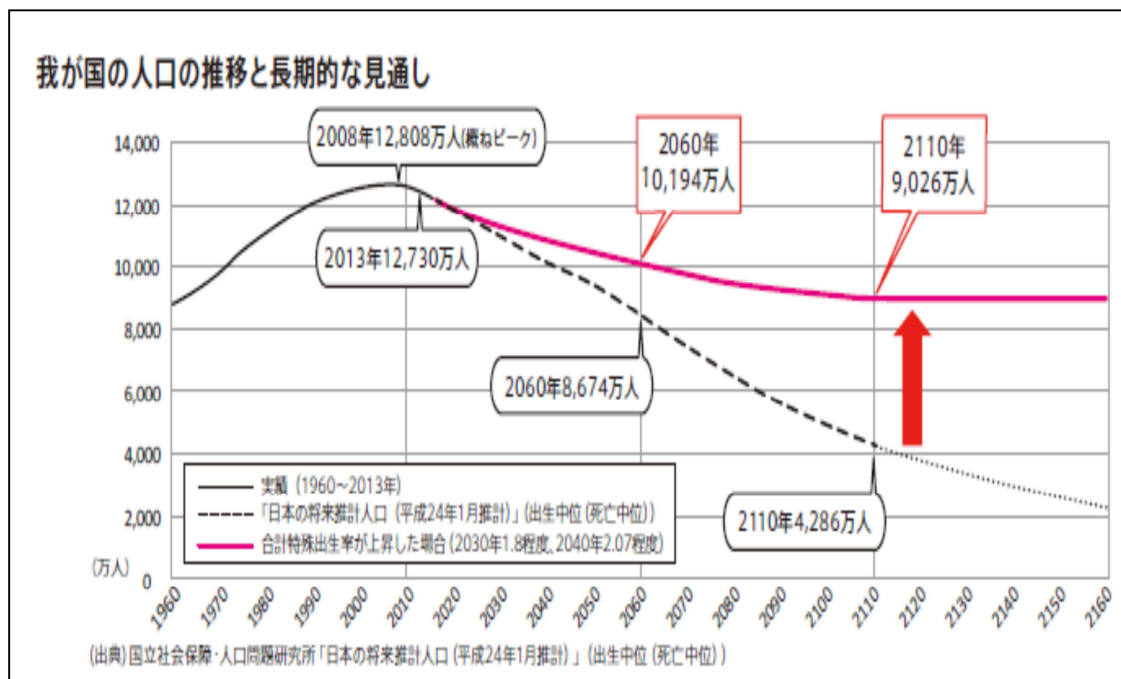
テーマ：定住・移住



話題提供：「まち・ひと・しごと戦略茶話会」にあたって

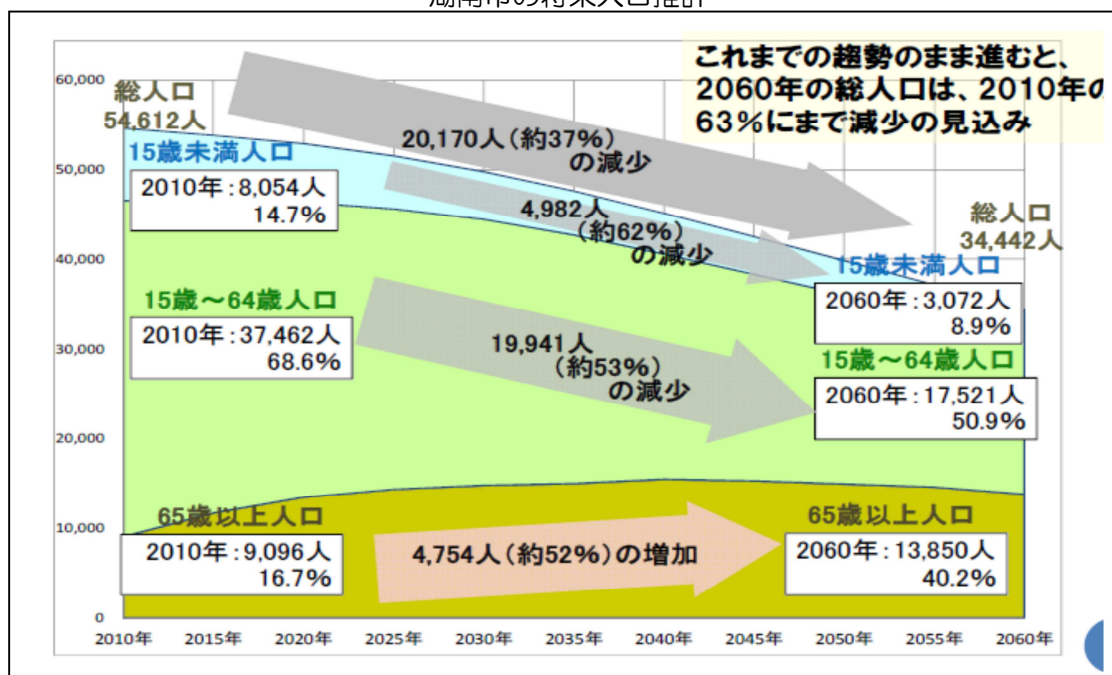
1. 将来人口の推計

2008年に始まった我が国の人口減少は、今後加速度的に進んでいく見込みです。



人口減少社会は、湖南省においても例外でなく、2006年3月の人口をピークに減少傾向にあります。今後も減少傾向は進み、2060年の総人口は34,442人となり、2010年の63%にまで減少する見込みです。

湖南省の将来人口推計



「日本の将来推計人口」国立社会保障・人口問題研究所より

2. 人口の変化が地域の将来に与える影響

■暮らしへの影響

- ・地域コミュニティの希薄化・弱体化により、集落機能の低下や集落の維持が困難
- ・利用者の減少により、バス路線の廃止や商店の閉店など日常生活に支障
- ・管理が不十分な空き家の増加により、景観の悪化や災害時に支障
- ・高齢者が増えることにより医療・介護従事者が不足
- ・地域の祭りなど伝統行事等の担い手がいなくなり、地域文化の伝承が困難
- ・子ども・若者世代の減少により、学校の統廃合や地域の活力が低下

■地域経済に与える影響

- ・消費が減少し、経済活力が減少
- ・生産年齢人口（労働人口）が減少することにより、労働力が不足

■行政に与える影響

- ・税収が減少し、公共施設の維持や生活を支える社会資本の維持が困難
- ・高齢者の増加により、社会保障費が増大

■その他の影響

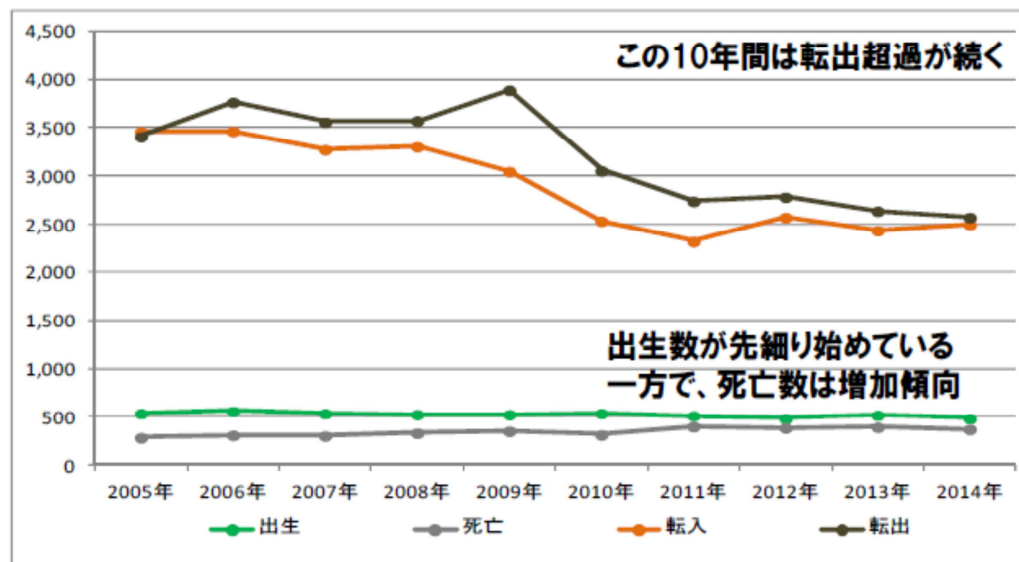
- ・担い手不足により、耕作放棄地の増加や森林の荒廃が進む

3. 目指すべき将来の方向

1) 現状と課題

人口動態：出生・死亡、転入・転出の推移

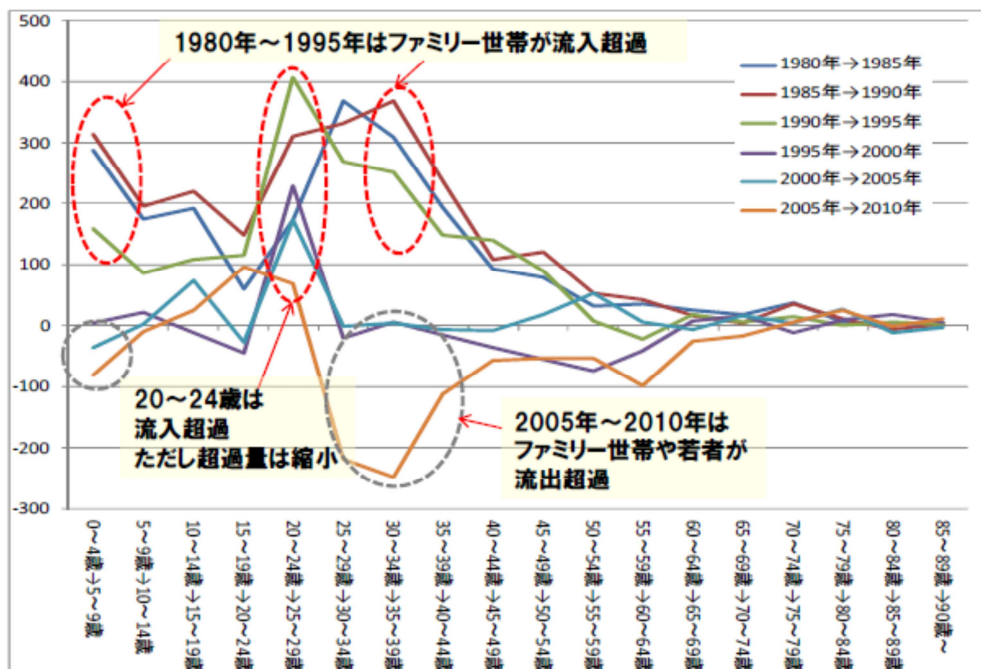
(3) 出生・死亡、転入・転出の推移



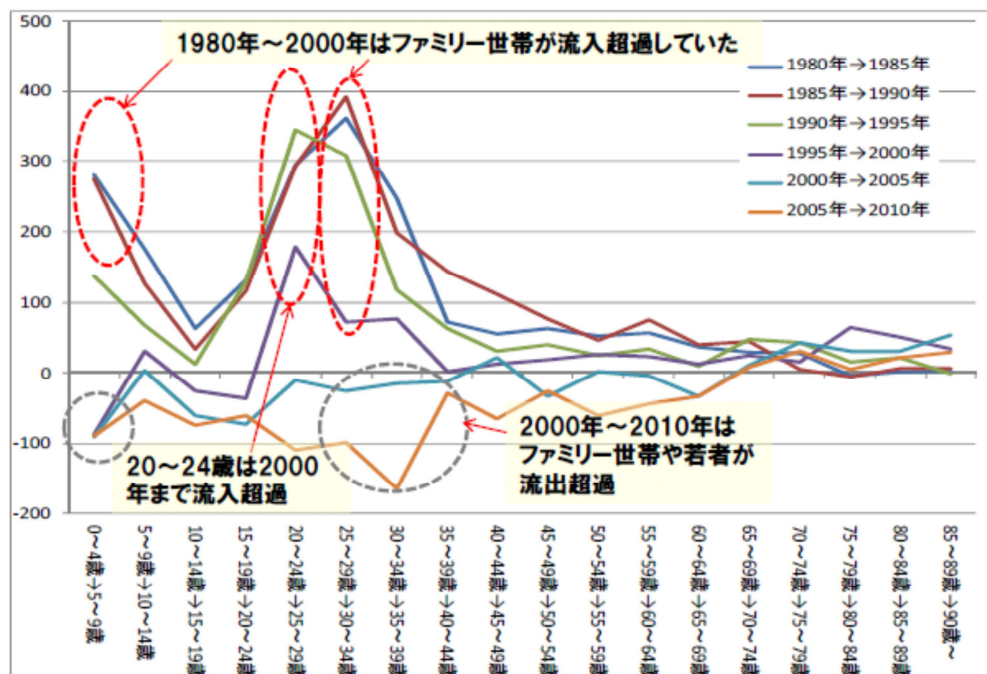
	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
出生	627人	538人	561人	537人	528人	527人	539人	514人	484人	520人	484人
死亡	261人	287人	311人	305人	334人	354人	316人	402人	388人	395人	374人
転入	3,579人	3,462人	3,466人	3,275人	3,306人	3,048人	2,534人	2,321人	2,573人	2,436人	2,498人
転出	3,628人	3,410人	3,767人	3,560人	3,575人	3,892人	3,055人	2,740人	2,783人	2,638人	2,573人

性別・年齢階級別の人口移動の状況

ア) 男性



イ) 女性



■ 湖南市の人口減少における課題

- ・ 出生数が横ばい（先細り）
- ・ 転出超過が続いている。
- ・ 特に若い女性の人口減少
- ・ 死亡数が増加傾向
- ・ 若い世代の人口減少（転出）

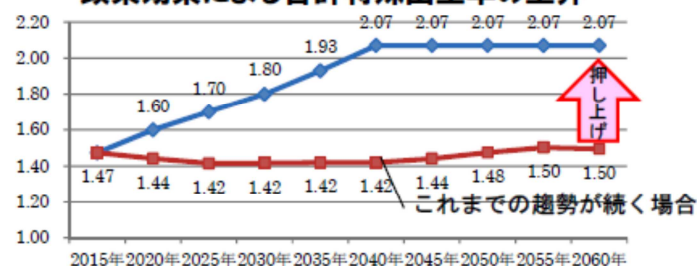
2) 人口の将来展望

政策効果による合計特殊出生率の上昇・総人口の上昇

(2) 政策効果(仮定)のイメージ(合計特殊出生率と出生数)

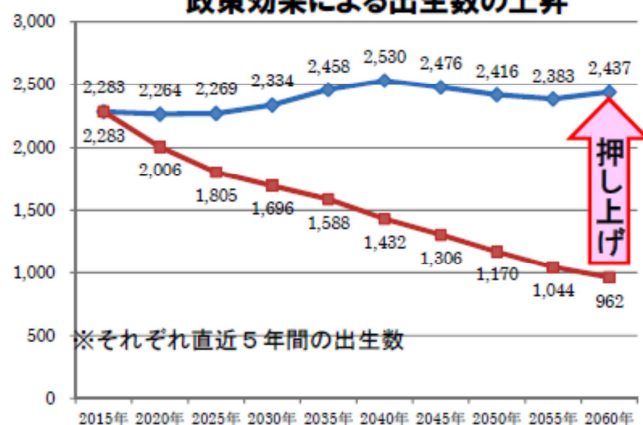
政策効果による合計特殊出生率の上昇

合計特殊出生率は、
2030年に1.8、2040年
に2.07(人口置換水準)
にまで上昇する



政策効果による出生数の上昇

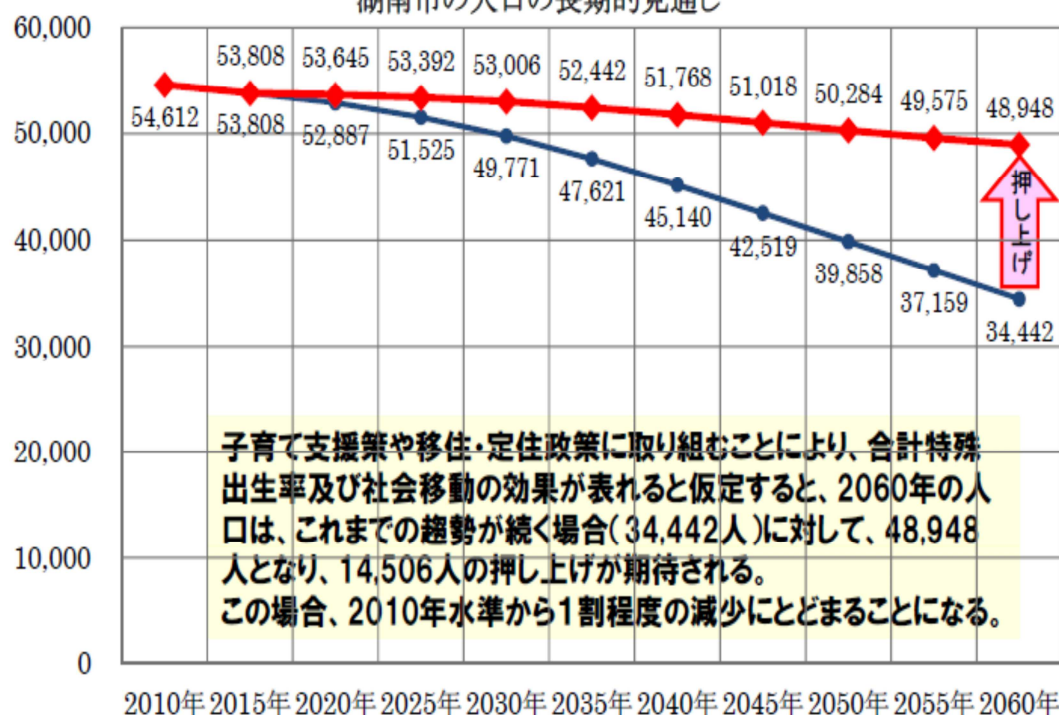
出生数に置き換えると、
2020年には、底を打ち、
2030年以降は2,400人
(5年間)程度で安定する
見込み



※それぞれ直近5年間の出生数

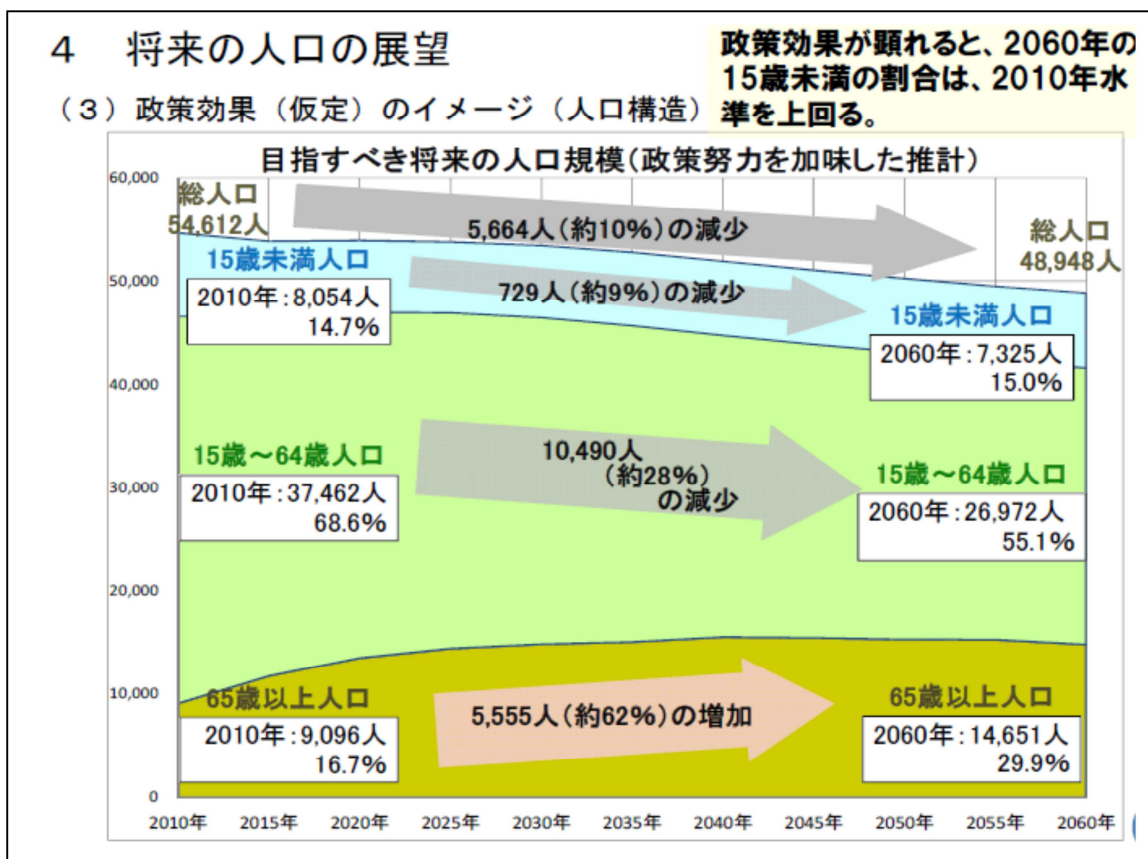
(3) 政策効果(仮定)のイメージ(総人口)

湖南省の人口の長期的見通し



子育て支援策や移住・定住政策に取り組むことにより、合計特殊出生率及び社会移動の効果が表れると仮定すると、2060年の人口は、これまでの趨勢が続く場合(34,442人)に対して、48,948人となり、14,506人の押し上げが期待される。
この場合、2010年水準から1割程度の減少にとどまることになる。

4. 将来人口の展望

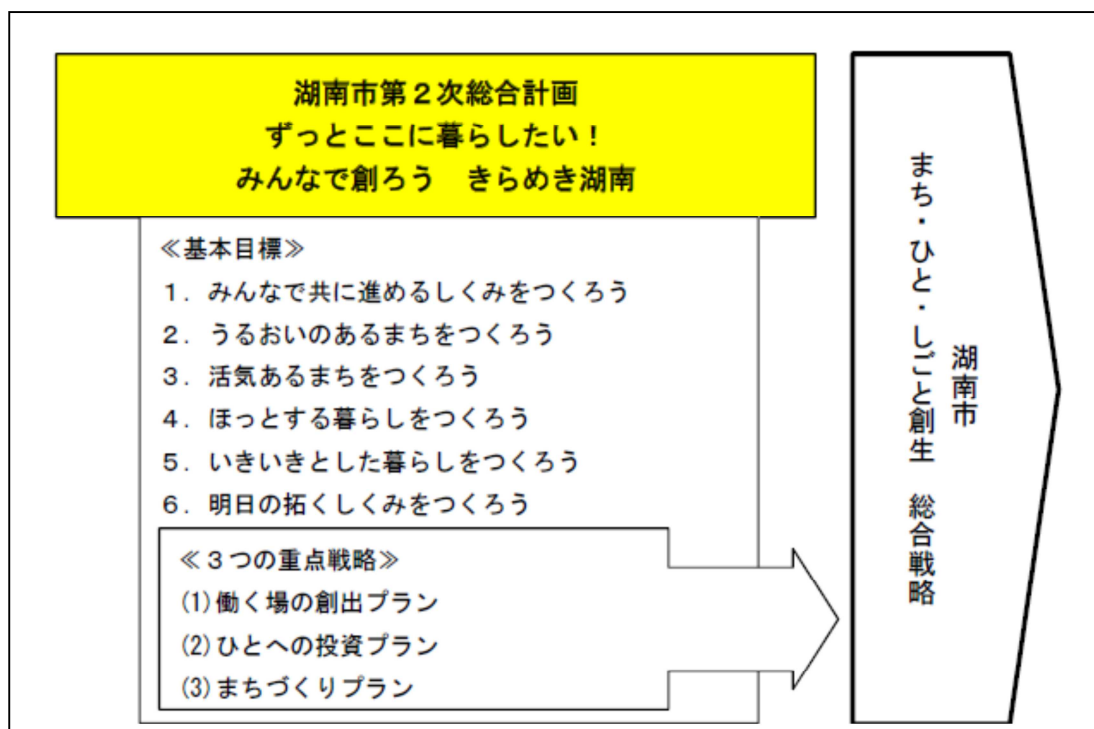


■ 湖南省の将来人口の展望

- 人口の減少を現在の総人口の約10%減少で食い止める。
- 2060年の15歳未満人口の割合は、2010年の水準を上回る。
- 高齢化率は30%までに食い止める。
 - ・合計特殊出生率は2030年までに1.8、2040年までに2.07(人口置換水準)
 - ・これまでの趨勢から見込まれる人口流出を、今後10年間で抑え、毎年150人の転入増加

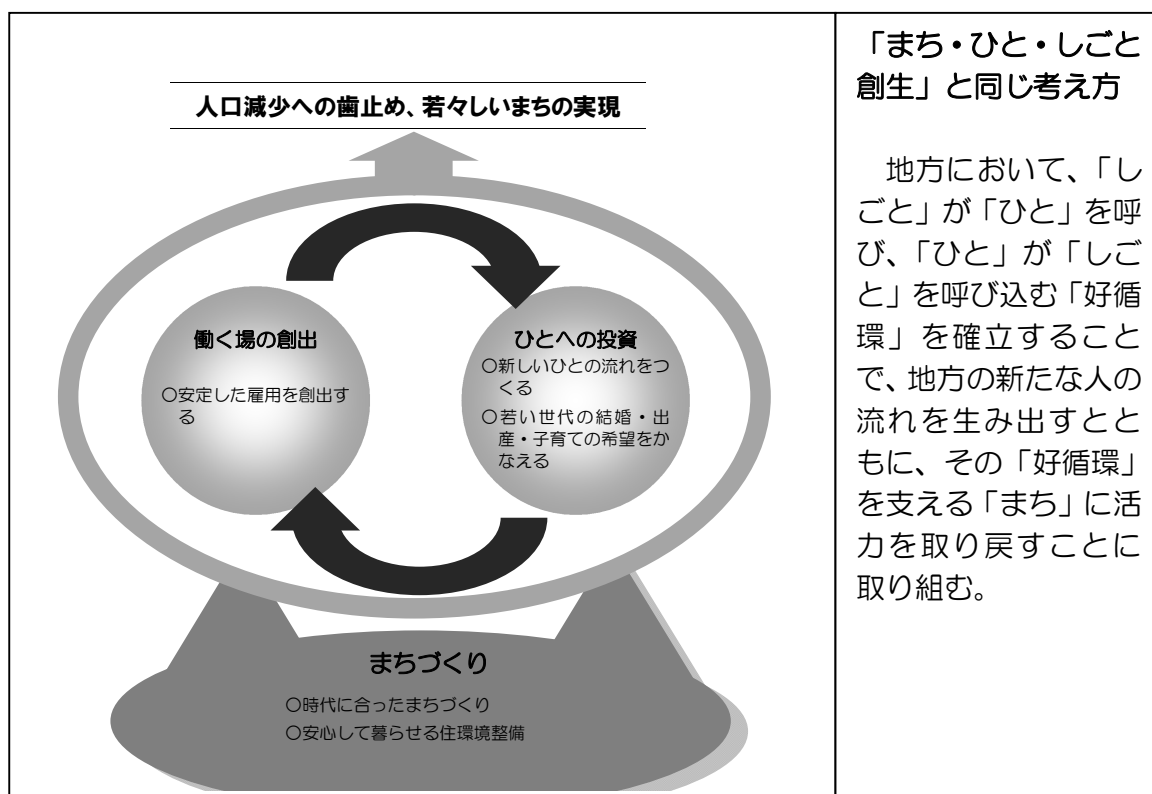
5. 湖南省版まち・ひと・しごと創生総合戦略

1) 総合計画の重点プランとしての位置づけ

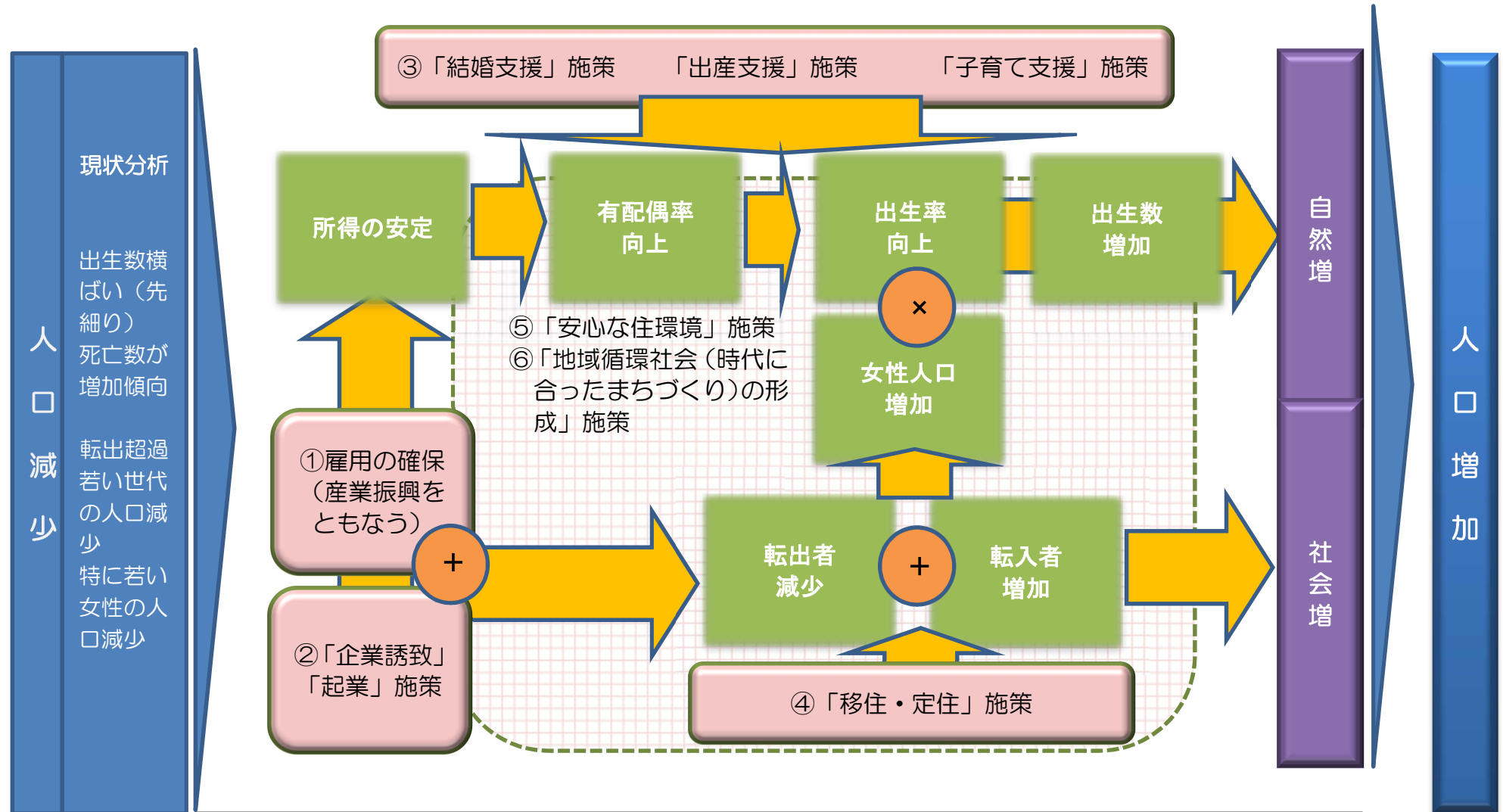


2) 3つの重点プラン

「湖南省版まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つの重点プラン「働く場の創出」、「ひとへの投資」、「まちづくり」とし、これを実現することで、人口減少への歯止め、若々しいまちの実現することを目指します。



3) 施策実施から人口増加につなげるイメージ



※茶話会では、①～⑥までのテーマで意見交換をおこない、具体的な施策を検討します。
みなさんが考える湖南省（まち）の特色（強みと弱み）を生かした施策の提案をお願いします。

まち・ひと・しごと戦略茶話会

人口減少への歯止め、若々しいまちの実現には、地域で支えあう子育て環境、暮らしやすい居住環境の実現、地域経済の活性化といった地域の活力を創生していくことが重要であると認識し、次の3つのプランを今後の施策の柱と位置付け、その課題に向けた施策を展開する。

● テーマ ● ひと:「定住・移住」

⇒立地条件等の湖南市の強みを活かしながら、人口の定着、U・J・Iターンの促進を図ることにより、転入人口が転出人口を上回り続けるまちづくり

● 視 点 ●

○定住の促進

- ・ふるさとの良さや伝統文化を次世代に伝え、湖南市に暮らす誇りや愛着を高める

【例】まちづくり協議会の活動充実

就職面接会の開催、企業情報の提供等を通じた新規卒の就職支援

○Uターンの促進・支援

- ・Uターンを望む出身者に対し、転職や居住環境、子育てなどの面で必要な支援を実施

【例】市内就職を促進するための求人確保とマッチング支援

○J・Iターンの促進・支援

- ・湖南市が移住先の候補地になり、様々な周知活動により知名度を向上
- ・移住先として着実に選ばれるように、移住の検討や実行に際し直面する様々な課題の解決をサポート

【例】移住希望者向けの情報提供

○観光交流の活性化

- ・地域の魅力を高めたり、経済規模が拡大するとともに、湖南市の知名度、認知度を高める観光交流の活性化

【例】地域資源を活用した観光交流

人口規模を維持するため取り組む施策

● 施 策 ア イ デ ア ●

左側の「視点」を参考に、将来にわたって人口規模を維持するため、「定住・移住」の促進に関して取り組むべき具体的な施策アイデアについてご意見をよろしくお願いします